



みどりの エッセイ

Vol.15

平野 稔 『テレビ番組ディレクター』

自然と暮らす人々を、 番組を通して伝えたい

私が制作にかかわっている番組「地球街道」（テレビ東京、毎週土曜夜10時30分）では、さまざまなゲストと共に世界各地を車で旅しています。村田雄浩氏との中国の旅では、彼が見たいと望んでいた四川省の「中国最美的十大森林」と言われる竹の海「蜀南竹海」を目指しました。三〇〇〇年の歴史を持つ竹梅には、一二〇kmにもわたって竹が群生しています。年間を通して湿度の高いこの地域は竹の育成に適していて、そこに住んでいる人々は竹とともに暮らしています。家の壁や天井にも竹が使われていて、イカダも竹。現地の人の家を訪れたときには昼食に竹筒にゴハンをつめて焼いたものや、タケノコ料理をこちそうになりました。環境と見事に共存しているんです。四川で標高三〇〇〇mの地にある「九寨溝」で見た風景も忘れられません。その渓谷には一四もの湖と一七の滝が連なっているのですが、湖の青があまりに美しいのは衝撃を受けましたね。

麻生祐未さんとともに中米の楽

園、コスタリカを旅したことも印象深い思い出です。標高一三〇〇mの地に雲、霧、雨が降り注ぐ熱帯雲霧林には珍しい生物が数多く生息しています。古代マヤ文明では神の鳥として崇められ、あの手塚治虫氏の漫画「火の鳥」のモデルになったと言われる幻の鳥、ケツァールに運良く遭遇することもできました。エコツアーも生まれ、観光客を楽しませるアトラクションも用意されているコスタリカは国と民が協力して熱帯雨林を保護しているんです。四川の水の美しさにしてもそうですが、旅する中で森と水の密接な関係についても考えさせられました。これからも、番組を通じて自然と共に暮らす人々の生き方を伝えていきたいですね。

〈プロフィール〉

平野 稔（ひらの みのる）

1972年8月31日生まれ。千葉県出身。1997年大学卒業後、テレビ番組制作会ネクサスに入社。AD（アシスタントディレクター）として「開運！なんでも鑑定団」（テレビ東京）、「驚きももの木20世紀」（朝日放送）などの番組にたずさわる。4年間ADを経験した後ディレクターに。「開運！なんでも鑑定団」「美の巨人たち」「地球街道」（3番組共、テレビ東京）などを担当。「地球街道」では、オーストラリア、スウェーデン、イギリス、スペイン、アメリカ、イタリア、アイスランド、中国、コスタリカ、チェコの回を担当。